

出力線量測定のためのプラン作成手順書

エレクタ株式会社

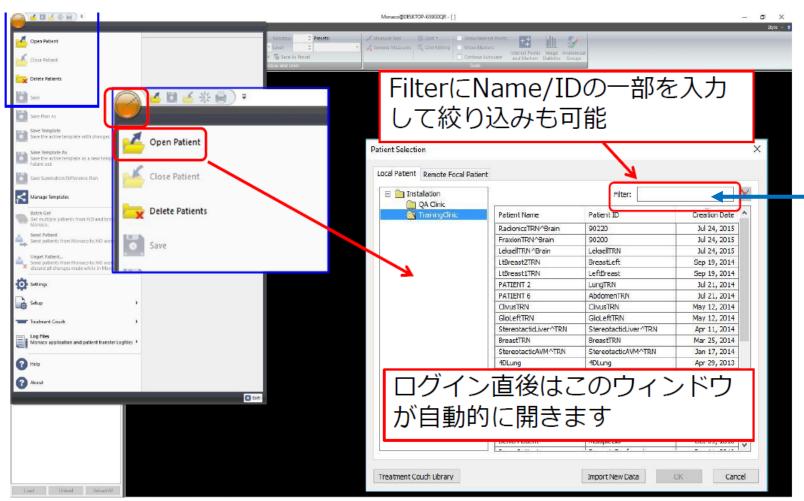
## 出力線量測定のためのプラン作成手順

- 1. 新規プランを作成
- 2. Virtual Phantomを開く
- 3. 処方線量の入力
- 4. Beam情報の入力
- 5. Calculation Propertiesの設定
- 6.線量計算、MU値の確認



### 1. Virtual Phantomを開く

Open Patientから「Virtual Phantom」を開きます



モデル納品時に登録されて いる「Virtual Phantom」を 選択ください

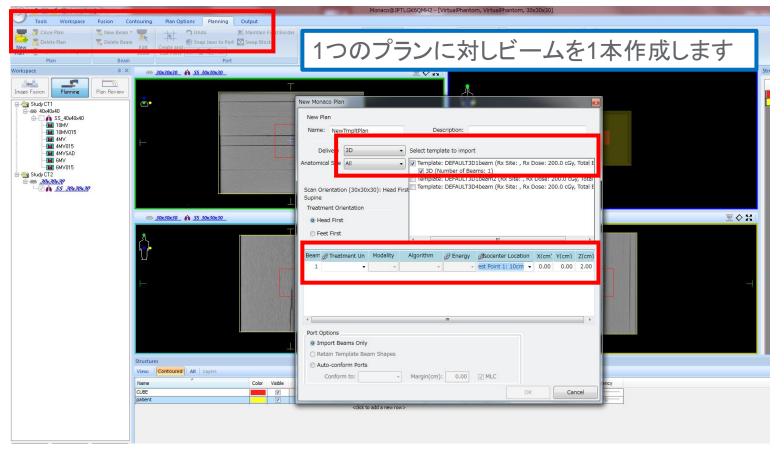


# 2. 新規プランの作成

「New Plan」から「DEFAULT3D1BEAM」を選択します

Treatment Unit Modality Algorithm Energy .

Isocenter Locationは「Interest Point 1: 10cm」を選択してください

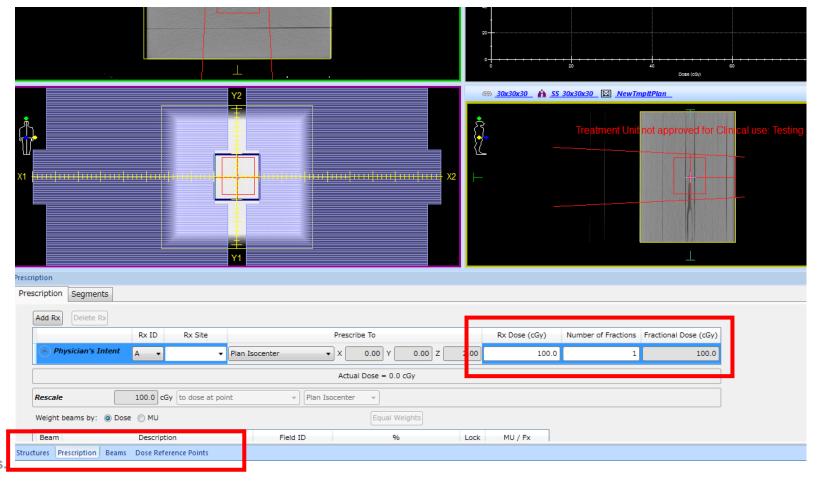




## 3. 処方線量の入力

左下の「Prescription」タブより

Rx Dose(cGy)に「100」、Number of Fractionsに「1」を入力します

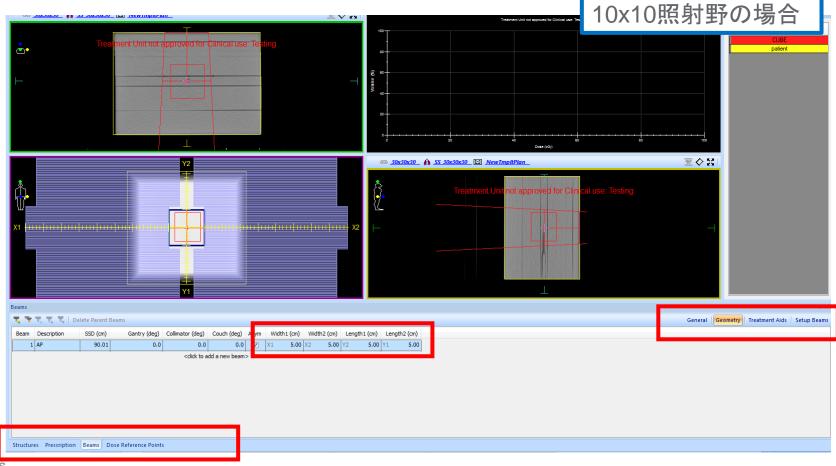




## 4. Beam情報の入力

左下の「Beams」タブを選択し、「Geometry」より照射野サイズを作成します

Jawサイズを手入力し、BEVで確認してください

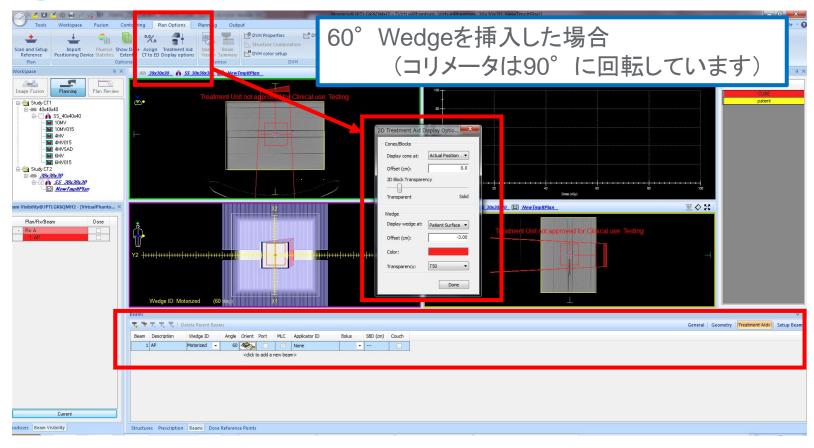




# 4. Beam情報の入力(Wedge)

「Beams」タブ→「Treatment Aids」からWedgeを選択します

適切な方向にWedgeが挿入されているか、「Treatment Aid Display options」を変更し確認してください





# 5. Calculation Propertiesの設定

「Calculation Properties」で計算条件の設定をします

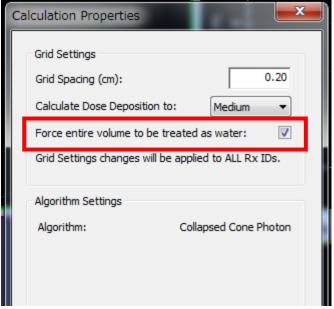
「Force entire volume to be treated as water」にチェックをいれてください



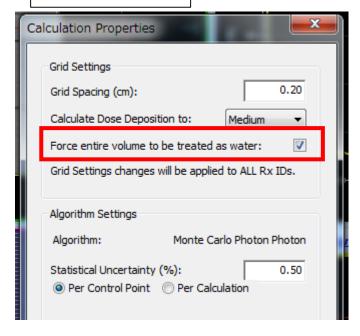
※Monte Carloの場合は 「Per Control Point」を選択

※「Grid Spacing」「Statistical Uncertainty」はコミッショニング等で使用している設定にそろえるのが望ましいです

### **Collapsed Cone**



#### **Monte Carlo**





# 6. 線量計算、MU値の確認

「Calculate」ボタンを押して線量計算をおこないます

照射MU値を「Prescription」タブより確認します

